

歴史ある干拓地の改修を効果的に推進

熊本・八代平野

コルゲートRFフリューム

天草諸島に囲まれた熊本県の内海・八代海沿いの、八代市を中心とする平野部は、江戸時代より干拓が行われて広げられた土地。現在も国営事業としての「八代平野土地改良事業」の推進を軸に維持管理・整備が行われており、約5,500haに達する農業地帯が維持されています。

本地区の農業用水路は、戦後の国の整備事業とこれに関連する県営土地改良事業等が継続的に実施され、水稲、い草及びトマトなどの複合経営に寄与してきましたが、近年、経年的な施設の劣化によりコンクリート構造物の欠損が生じているなど、農業用水の安定供給に支障を来していました。

農業用水路の改修工事にあたって



は、冬季もい草や施設園芸などで農業用水利用者が多いため、仮設水路で用水の仮廻しを行い、用水利用を継続させる必要があります。

その中で、比較的流量が多く、仮設水路を設置する用地が確保できる「八代幹線水路」も水を止めずに利用を継続するための仮設の切り回しをしながら改修工事を進めることとなりましたが、その仮設水路として採用されたのが岡三リビックの提供する「コルゲートRFフリューム」です。

一般の鋼製コルゲート材と異なり水の流れに逆らわない方向に波付

けされた部材を組むため粗度係数を小さく抑えることができ、流量を確保しながらより断面の小さい構造物とすることができます。

岡三リビックは、速やかなインフラ整備を支える資材としてコルゲートRFフリュームに注力し、全国拠点倉庫からの即応体制と、仮設材として買戻しにも対応する柔軟なサポートを提供しています。



工事概要
 施主: 九州農政局 八代平野農業水利事業所
 工事名: 八代幹線水路改修工事
 施工会社: 徳倉建設株式会社 株式会社杉本建設
 商品名: コルゲートRFフリューム 2工区計約800m

お国自慢

越前漆器

四国支店 清水陸登

私の出身の福井県鯖江市では、越前漆器という伝統工芸品が有名です。越前漆器の起こりは、約千五百年の昔にさかのぼるといわれています。

古墳時代末期の六世紀頃、第二十六代継体天皇がまだ皇子だった時分に、鯖江（当時は「片山集落」）に住む塗師に壊れた冠の修理を依頼したところ、冠は漆で綺麗に修理され、さらに黒塗りの椀が献上されました。皇子はその見事な出来映えに感動し、漆器作りを強く奨励しました。これが今日の越前漆器の始まりとされています。

越前漆器を製作する際の工程はいくつかあるのですが、私の祖父は「木地づくり」という、木からお椀の原型となるように形をつくる仕事を行っています。

作業方法としては、お椀・皿などの丸物は、ろくろにセットした木地を回転させながら丸い形に挽いていき、また角盆や重箱などの角物は、木地を寸法に合わせてカットして組み立てる方法で作業を行っています。

平成二七年には私の祖父も黄綬褒章を受賞させて頂いたのですが、今日では職人の高齢化も進み、需要も減っていることから越前漆器自体が衰退しているそうです。今後、こういった地場産業を復活できるように若い世代の私たちも頑張っていきたいと思っています。

岡三リビック 商品群

- 道路・盛土** 多数アンカー式補強土壁工法 トリグリッドEX パラリンク フラットパネル RRR工法 EDO-EPS工法
- ダイブラハウエル管** **法面・防災** 多機能フィルター ミニアンカーDO PDR工法 サビレス100
- 維持・管理** ARISライナー工法 SWライナー工法 RCGインナーシールα工法 Tn-p工法 ローマットHDB
- 鉄鋼建材** ライナープレート コルゲートパイプ **景観・環境** ロッキーステージ 斜面いりどり工法 フォトリックアート

多数アンカー式補強土壁工法の施工管理がNETIS登録

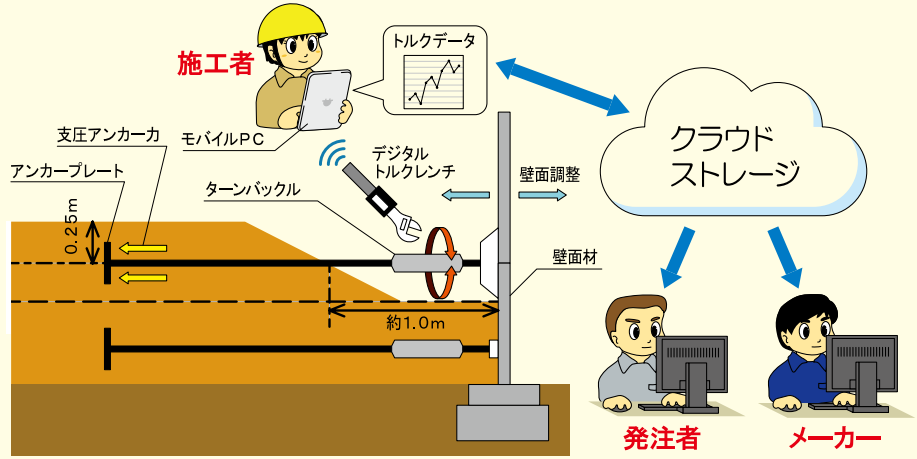
HK-220006-A 「トルクデータを活用した多数アンカー式補強土壁の品質管理システム」

岡三リビングはこれまで自社工法「多数アンカー式補強土壁工法」の品質管理の高度化を長期的な課題として取り組んで来ましたが、このたびその成果をNETIS対象技術として登録することができました。

新しい管理方法は補強土材に取付けられているターンバックルのトルク値を計測し、クラウドストレージを介して遠隔地にいる発注者や補強土壁工法メーカーともリアルタイムで情報を共有、盛土材料の性状変化に対する早期の対応を可能にしています。

多数アンカー式補強土壁工法は、タイバーを介して壁面材と連結されたアンカープレートと土中に埋設しながら構築していく抗土圧構造物で、アンカープレートの発揮する支圧力が壁面に作用する土圧とバランスして安定を図ります。

タイバーはターンバックルが装着されていることで壁面の鉛直度を調整でき、これで全体の鉛直性を保持する構造になっています。このターンバックルの締め付けトルクを計測することで所定深度にあるアンカープレートの引抜き抵抗力の数値を導き、盛土の状態を間接的に把握することができるようになります。ター



ンバックルを用いる多数アンカー式補強土壁工法だからこそ可能な測定方法ということができます。

壁面調整のために回転させるターンバックルの回しやすさは反力となるアンカープレート周辺の盛土材の状態を反映していると捉え、施工中の土質の変化などがなくとも含めアンカー材一本一本の単位で確認しながら施工。例えば現地発生土を用いるような場合においても所定の引抜き抵抗力が得られる盛土の状態であることを数値的に確認し、品質の高い補強土壁の構築が可能となります。

このトルク計測値はクラウド上に瞬時に保管することにより、遠隔地にいる発注者や補強土壁工法メーカーも容易にそのデータを参照・蓄

積することが可能です。また多数アンカー式補強土壁工法は、施工後の経年的品質管理についても独自の手法を確立。通常は土中に埋設され、様子をうかがえないタイバー頭部を壁前面に定着させる新タイプ壁面材「NDパネル」を開発し、ダミーではない実際に機能している部材そのものの非破壊検査による容易な健全性確認を可能にしました。



NDパネル

品名	平成元年	令和四年
米五千口 ^号	四八九八円	二〇六一円
さんま一尾	一五〇円	二〇七円
キャベツ一玉	二〇〇円	一九一元
大根一本	一六三元	二二一元
豆腐一丁	九八円	八四円
国産牛ロース一〇〇 ^号	六六二円	八九三元
配達瓶牛乳	六三元	一三三元
卵パック	二七七円	二三四円
喫茶店コーヒ一	三二七円	五一六円
缶ビール六本	三〇三元	一一八円
茶碗	四一九円	五三八円
タクシー初乗の	四八〇円	四一〇円
JR初乗の	一四〇円	一四〇円
映画館	一五八五円	一四一〇円
はがき一枚	四一元	六三元
歯ブラシ	一三六円	一一二元
ボールペン	六九円	二一九円
ノート	一一〇円	一六三元
浴場入浴料	二九五円	五〇〇円
ワイシャツ	三九六二円	三〇〇二元
背広(夏物)	五〇五七〇円	三二一八一元
ワイシャツクリーニング	二〇三元	一四六円
国立大授業料(月)	二八一五〇円	四六六一五円
家賃一坪	七一九九円	八八〇二元
自転車	三三四五〇円	三八一〇〇円
洗濯機(一層式)	五〇七三〇円	九四〇〇六円

(東京都港区小売価格等より算出)

今年はず々なものが値上がりした。ものの値段は時代を経てどんどん変わるものだが、改めて平成元年頃が現在と比べてどんな物価だったかを調べてみた。意外と下がっているものも？

値段の変遷



記: 編集T